

目次

白ポストとは	4
小田原の白ポストはどこにある	5
安城市のポイボックスは…	7
各務原市はどうしている	8
東近江市の白ポストを探る	10
日野駅には町唯一のアレがある	14
舞鶴のアレはあまり白くない	15
大阪府にも白ポストがあつた	17
三田市に並ぶ白ポスト	18
姫路市は白ポストを残す	24
相生赤穂上郡 西の涯の白い箱	32
紀の川市に並ぶアレ	36
智頭町にアレはなくもない	39
瀬戸内市はどこへ行く	41
吉野川市に一つだけある何か	43
三木町は言行を一致させる	45
海老津駅前に白ポストは立つ	48
現場での白ポストの探し方初級編	49
白ポスト一問一答	54
各地への交通	57
白ポストと体力	58
ウェブに見る白ポスト	59
	第七回 白ポストの謎
シリーズやっぱりなかった	60
	第八回 南海高野線の大阪府内

表紙： 姫新線余部駅前の白ポストあるいは白ポスト？日ポスト？

紀の川市に並ぶアレ

和歌山県の北限の一部となる紀の川市は、打田町・粉河町・那賀町・桃山町・貴志川町が2005年に合併して成立した。市北部を東西に走る和歌山線には、下井阪・打田・紀伊長田・粉河・名手の各駅がある。また、和歌山市から旧貴志川町域へ南海貴志川線が入り込んでいる。



ここでは、旧貴志川町の地域を省き、[上図²⁵](#)の和歌山線沿いについて報告する。なお、下井阪と打田は旧打田町、紀伊長田と粉河は旧粉河町、名手は旧那賀町にそれぞれ位置する。

下井阪駅



駐輪場や電話箱のある、しかし乗場には屋根があるくらいの簡素な駅が、下井阪である【左の画像×3】。名所案内板の文字はほぼ消え、ただの板になっている。

その屋根の下に、最小限の文字が書かれた白ポストがある【左の画像】。その表面には、

²⁵ 国土地理院地図(<https://maps.gsi.go.jp/#14/34.268921/135.396280/&base=std&ls=std&disp=1&lcd=std&vs=c0j0l0u0t0z0r0f0>)の一部を翻案した。

現場での白ポストの探し方初級編

白ポストをどうやって探すのか。ここでは、多分ありそうとかあってもおかしくないような場所での振舞いに絞り、より素早い行動のための一般論を示す。

白ポストは駅にある

白ポストが置かれ易い場所の典型は、駅である。駅以外への設置も、珍しいわけではない。しかし、例えば公民館や道の駅の例を想像すれば明らかな通り、駅以外は白ポストもついでもなく設置率もより低い場所となりがちである。自ら目印を兼ねる駅を最初に狙うことが、早い到達の第一歩である。

新幹線は違う



新幹線の改札内を見る必要はない。新幹線は、長距離移動を前提とし、日常的な利用の比重が低い交通機関である。白ポスト的なものの設置の意図からすれば、より強く訴えるべき相手が他にいる。なので、熱海駅【左の画像】のような場所でも、在来線側だけを見れば足りる。

ただしこれは改札内に限った話である。

そこそこの駅を狙え

例えば札幌や千葉や岡山のように構造物が大規模な駅には、物陰やら小さな改札やらがちである。そういうものがない、乗場がせいぜい3本まででうち1本に駅舎と改札が繋がっている駅が、いくらかでもある。かなりマイナーな駅からそこそこの主要駅までが、この規模に納まる。そういった駅は、探し易い。改札付近と出入口付近、それに待合室を見れば、状況がはっきりする。駅の規模等の詳細は問わない。乗換駅とかその他何らかの付加的設備がある駅であっても、売店があろうとなかろうと、途中の駅であろうと終点であろうと、白ポストを探す上での注意点は異ならない。



左上 : 東能代駅
右上 : 金谷駅
左下 : 木次駅
右下 : 下諏訪駅

もちろん、探せば必ずそこに白ポストが見つかるとは限らない。それは所による。

- 画像と言及あり
- 現地関連画像あり
- 言及あり

